

World Vision

この子を救う。未来を救う。

Closure report 2025

終了報告書

タンザニア連合共和国
ゴロワ地域開発プログラム
TZA-183548 (2006 年～ 2025 年)

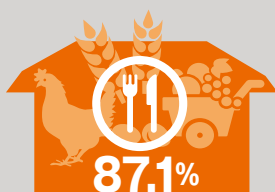


ありがとうございました

皆さまのご支援により、人々が変わり、地域が変わりました

年間を通して、十分な食料を
得られる世帯

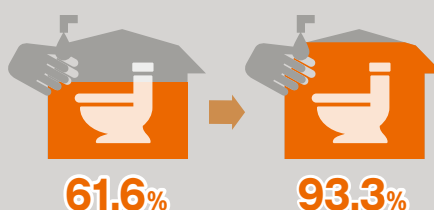
2025 年



排せつ後に手洗いの習慣が
ある世帯の割合

2008 年

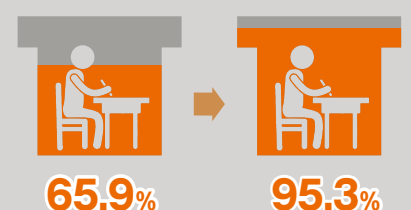
2025 年



小学校での授業の
出席率

2014 年

2025 年



Water



水衛生

安全な水を届け、
衛生環境を改善

以前は安全な飲み水の入手が難しく、女性や子どもは水くみに片道1時間半以上かけて歩いていました。そのため家事や勉強の時間がとれず、生活の大きな負担でした。また水場は牛などの家畜も利用するため、汚染された水によって子どもたちは下痢などの感染症に苦しんでいました。こうした状況に対し、ワールド・ビジョンは地下水を活用した給水設備を整備し、各家庭や学校、診療所に安全で清潔な水を届けられるようになりました。水くみに費やしていた時間は家事や勉強の時間に変わり、人々の生活の質は大きく向上しました。さらに、衛生に関する継続的な啓発活動により、手洗いの習慣化やトイレの整備も進み、子どもたちの健康が守られるようになっていきます。



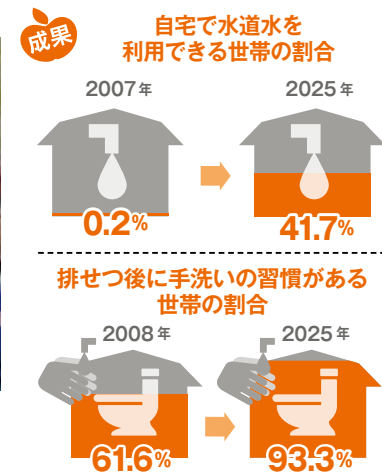
支援前

人々が水くみのために歩いた道



支援後

学校に整備された水道で安全な水を使う子どもたち



Livelihood



生計向上

多様な研修を通じて
収入を増やす
体制作りを支援

地域の人々は農業や畜産を主な収入源としていますが、以前は収穫量の少ない品種の作物しかなく、また事業を広げるための資金も十分に得られませんでした。ワールド・ビジョンは、生産性の高いバナナの栽培や乳の多く出る乳牛の飼育、養蜂で収穫したはちみつの販売ルートの確保など、多様な研修を行い、効率的な生計向上を支援してきました。また、地域の人々が自主的に貯蓄グループを結成して、ビジネスの拡大につながる仕組みも整備されました。こうした取り組みにより人々の収入は増加し、また貯蓄グループでの活動によって生じた利益は地域の学校に寄付されるなど、子どもを取り巻く環境の改善に役立てられています。



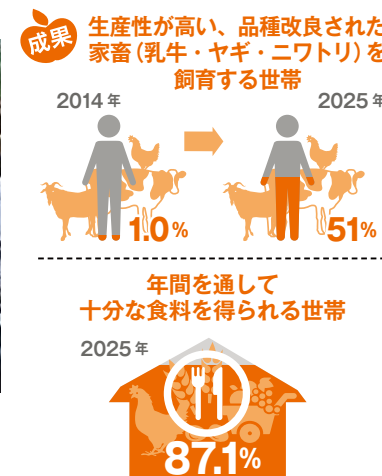
支援後

女性による貯蓄グループの活動



支援後

品種改良された乳牛を飼育する様子



Health & Nutrition



保健・栄養

衛生と栄養への理解が
広がっています

支援開始当初、多くの家庭では穴を掘っただけの不衛生なトイレを使用し、屋外排泄も珍しくありませんでした。また、人々は栄養価の高い食料を十分に得られず、多くの子どもに貧血や年齢に見合わない低身長・低体重といった症状が見られました。ワールド・ビジョンは、地域のほぼすべての家庭に衛生的なトイレが設置されるよう支援するとともに、女性を中心とした栄養グループを設立し、研修を実施しました。さらに、継続的な啓発活動により、母乳育児や予防接種による感染症の予防、栄養バランスのとれた食事への理解が広まりました。また、生計向上を目的に乳牛を提供したことで、牛乳が得られるようになり、子どもたちの栄養改善に大きく寄与しています。



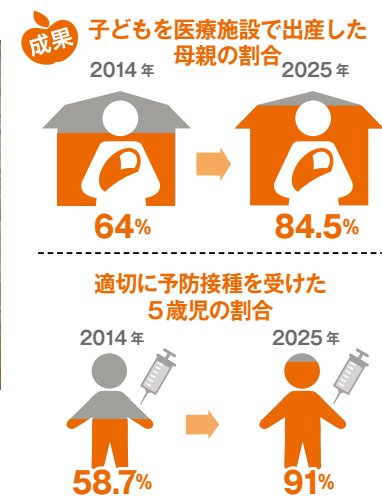
支援後

自宅で飼育する乳牛から絞った牛乳を飲む子どもたち



支援後

栄養改善の指導を受けて元気に育つ女の子



Education



教育

安全な通学と
学びの環境が整いました

多くの学校では、机などの基本的な学習設備が不足していたうえ、学校自体の数も足りず、子どもたちは7～8キロも離れた学校まで通わなければなりませんでした。通学路では野生動物に遭遇する危険もありました。こうした状況を改善するため、ワールド・ビジョンは地方政府と連携し、学校の新設や教室の増設、机の提供、トイレや水衛生施設の整備を行いました。これにより学習環境が大きく改善されたほか、子どもたちの通学時間を短縮することができ、安全に通学できるようになりました。さらに、保護者への啓発とPTAの協力によって学校給食も始まり、子どもたちは空腹に悩まされることなく、安心して学べるようになっていきます。



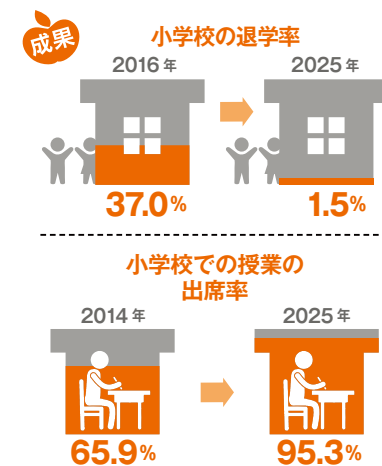
支援前

教室では子どもたちが身を寄せ合うようにして授業を受けていました



支援後

学習環境が整い、勉強に集中できるようになりました



マネージャーよりごあいさつ



ゴロワ地域開発プログラム
マネージャー
エスター・ムシエンドウワ

ワールド・ビジョンは19年間にわたり、地域住民と話し合いを重ねながら、子どもたちの栄養状態の改善や学校の環境整備、家庭の収入向上など、地域の様々な課題にともに取り組んできました。長い支援期間の途中には、新型コロナウイルス感染症の影響による活動の遅れなど、様々な困難もありましたが、人々はそうした逆境に屈することなく歩み続け、今では子どもたちが安心して暮らせる環境が整えられつつあります。こうした変化は、チャイルド・スポンサーの皆さまの継続的なご支援があってこそ実現したものです。ゴロワ地域への温かいご支援に、心より感謝いたします。

地域代表者からのごあいさつ



地域開発委員会代表
ユスフ・マルティン氏

ワールド・ビジョンの支援が始まる前、私たちは多くの問題に直面しており、そのどれもが自分たちの努力では解決しがたいものでした。特に貧困は深刻で、多くの家庭で子どもたちが栄養不良に陥っていました。しかしチャイルド・スポンサーの皆さまのご支援により、灌がい用の水路が整備され、農作物の収穫量を増やすための農業研修が行われ、世帯の収入を増やすことができました。さらに安全な水を得られるようになるなど、今では子どもたちを取り巻く環境は大きく改善されています。こうした成果を私たちは今後も推し進め、地域を発展させていきます。19年間にわたる温かいご支援に、心より感謝いたします。

皆さまとともに歩んだ19年間の支援と成果

準備期
2006年度
▼
2008年度

- ◎ 支援対象地域での状況やニーズの調査
- ◎ 地方自治体および地域住民とともに、調査結果に基づくプロジェクト実施計画の立案
- ◎ 地方行政、地域住民、関係者との協力体制を構築
- ◎ 支援計画を遂行するためのプロジェクト委員会設立、会議の実施



支援前の小学校の校舎

第1期
2009年度
▼
2013年度

- ◎ 職業訓練センターの建設と、若者を対象とした職業訓練の実施
- ◎ 小学校に教材や学習に必要な資材を提供
- ◎ 農業生産性と収穫量の向上を目的とした、農業研修を実施
- ◎ 生産性と市場へのアクセス向上を目的に、生産者グループを設立・強化
- ◎ 地域リーダーや保護者を対象とした、子どもの教育の重要性に関する研修を実施
- ◎ 医療従事者および保健スタッフを対象とした研修を実施
- ◎ 移動診療所を支援し、5歳未満の子どもに対する予防接種とビタミン剤を配布



5歳以下の乳幼児に予防接種を行う様子

第2期
2014年度
▼
2020年度

- ◎ 青少年を対象とした、ライフ・スキル(※)教育の研修を実施
- ◎ 地域住民と協働し、学校給食のための働きかけを実施
- ◎ 灌がい用水路を建設
- ◎ 困窮世帯の子どもにノート、教科書、鉛筆などの学用品を提供
- ◎ 乳幼児を育てる保護者を対象に栄養改善グループを設立し、家庭菜園の設置を支援
- ◎ 新型コロナウイルス感染症の予防に関する啓発活動および、31の小中学校に81基の手洗い設備を設置
- ◎ 約5,000人の小学生に手洗い用石けんを配布し、正しい手洗いの仕方の研修を実施
- ◎ 約1,300人の子どもの出生証明書の取得を支援
- ◎ 井戸1基、5万リットルの水タンク1基、水くみ場10カ所の建設



支援によって建設された水タンク

第3期
2021年度
▼
2025年度

- ◎ 支援終了後の各活動の移行計画に関する、関係者との話し合い
- ◎ 10の小中学校で、衛生的なトイレを建設
- ◎ 小学校に教室や職員室を建設し、机や椅子などの備品を提供
- ◎ 貯蓄グループと金融機関を連携し、融資を支援
- ◎ 子どもに対する暴力や児童婚をなくすための啓発会議やイベントを実施

※ライフ・スキル：日常生活で生じるさまざまな問題や要求に対して、効果的に対処するために必要な能力
例) ギャングからの勧誘を断る力や、家庭や地域内での対立に直面した際、建設的に解決しようとする力など



子どもたちが自らの権利や子どもの福祉について話し合う「子ども議会」の様子

支援を受けたチャイルドのストーリー

「自分自身と向き合い、
目標が持てるようになりました」

タフィタさん
(19歳)

19歳のタフィタさんは、両親と3人のきょうだいと暮らしています。一家は貧しく、日々の食事にも事欠く毎日を送る中で、タフィタさんは将来への希望も、目標も持てずにいました。

そんな生活は、ワールド・ビジョンが実施した「エンパワード・ワールドビュー (EWV)」という研修に参加したことで大きく変化しました。EWVでは、貧困状態にある人々が自立した生活を築けるよう、自分自身の価値と可能性を認識する機会や収入向上のための技術研修を提供しています。「以前の私は、自分に何ができるのかわからず、将来の見通しも持てませんでした。でも研修を通じて自分自身と向き合い、『洋裁を学びたい』という目標を持てるようになりました。両親に頼み込んで洋裁の研修に通い、その後ミシンを購入して、自分で縫った服を売ってお金を稼ぐことができています」

日々の生活に必要なものを自分で買えるようになり、自立した生活を送っているタフィタさん。「妹や弟のためにノートやペンなどの学用品も買ってあげることもできるし、両親のために洋服を縫ってあげることもできます」と笑顔で話します。

「私たち家族、そして地域全体を支えてくださったチャイルド・スポンサーの皆さま、本当にありがとうございます。皆さまのおかげで、私たちの考え方や生活は大きく変わりました。改めて、心からの感謝をお伝えします」

